

## 第2回 国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会

日 時 平成19年7月17日(火) 午後7時00分～  
場 所 国分寺Lホール

### 議 事 次 第

1. 開会
2. 副市長挨拶
3. 委員紹介
4. 副座長選出
5. 議 題
  - (1) アンケート調査結果の報告
  - (2) ブロック検討会(第1回～3回)の報告
  - (3) まちづくり計画検討の進め方について
  - (4) その他
6. 閉 会

#### 資料

- 資料1 : “国3・2・8号線沿道まちづくり”に関するアンケート調査結果について  
資料2 - 1 : ブロック検討会開催報告(第1回～第3回)  
資料2 - 2 : ブロック検討会における意見を踏まえた検討事項  
資料3 : 国3・2・8号線沿道まちづくりに関する次世代アンケート調査実施要領(案)  
資料4 : 今後のブロック検討会の進め方について(案)  
参考資料1 : ブロック検討会配布資料(第1回～第3回)

**国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道地区  
まちづくり協議会委員名簿**

(50音順・敬称略)

氏 名	所属等	区分	備 考
あ い ば しん 饗 庭 伸	首都大学東京 研究員	6号	
あ り が たかし 有 賀 隆	早稲田大学理工学術院 教授	6号	
あ り よ し しゅうぞう 有 吉 重 蔵	国分寺市市民生活部長	7号	
い な が き みちこ 稲 垣 道 子	(株)フェリックス 代表取締役	6号	
お く ち しんいち 小 口 進 一	国分寺市清掃施設整備等担当部長	7号	
か ん ざ き たかよし 神 崎 高 義	戸倉自治会	2号	
きよ はら かずと 清 原 一 人	武蔵台自治会	2号	
くり はら しんいち 栗 原 進 一	内藤自治会	2号	
こう やま まさゆき 神 山 正 行	内藤自治会	2号	
こう やま ひでお 神 山 秀 雄	国分寺市商工会	4号	
さ か も と ゆきお 坂 本 幸 雄	公募市民(並木町在住)	1号	
す ず き よしひろ 鈴 木 吉 弘	国分寺市都市建設部長	7号	
た か だ ち えみ 高 田 千 恵 美	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	
た く ら へいぞう 田 倉 平 蔵	戸倉自治会	2号	
て ら う ち よしのり 寺 内 義 典	国土館大学工学部 助教授	6号	
ない とう たかお 内 藤 孝 雄	内藤自治会	2号	
ない とう とよかず 内 藤 豊 一	内藤自治会	2号	
な か む ら みつとし 中 村 光 利	内藤自治会	2号	
な か む ら やすゆき 中 村 安 幸	東京むさし農業協同組合	5号	
ひ ぐ ち みちお 樋 口 満 雄	国分寺市政策部長	7号	
ひ ぐ ち やすあき 樋 口 靖 明	公募市民(東元町在住)	1号	
ふ じ き たえこ 藤 木 妙 子	公募市民(戸倉在住)	1号	
ふ な み ず ひろこ 船 水 弘 子	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	
ほ り ぐ ち いさく 堀 口 伊 作	共益東部自治会	2号	
や ま ね まちる 山 根 衛	戸倉自治会	2号	

1号委員：公募により選出された市民 2号委員：国3・2・8号線沿道地区関係自治会の推薦者

3号委員：国分寺市立小中学校PTA連合会の推薦者 4号委員：国分寺市商工会の推薦者

5号委員：東京むさし農業協同組合の推薦者 6号委員：識見を有する者 7号委員：国分寺市の職員

国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道地区まちづくり協議会 事務局名簿

所	属	氏 名	電 話
(幹事)	政策部	政策経営課長	内 藤 達 也 042-325-0111 内線371
	市民生活部	経済課長	加 藤 美智子 内線392
	都市建設部	道路管理課長	栗 原 修 内線503
		緑と水と公園課長	荒 井 務 内線352
		建設課長	阿 部 崇 内線505
	環境部	環境計画課長	富 澤 守 内線438
		下水道課長	伊 藤 勘 一 内線442
	教育部	学務課長	福 島 繁 雄 内線457
(事務局)	都市建設部	都市計画担当部長	松 本 昭 内線510
	都市計画課	都市計画担当課長	増 田 聡 内線513
		都市計画担当係長	池 田 昇 内線512
		都市計画担当	小 川 登 "
		"	三 田 俊 子 "
		"	橋 口 順 子 内線387
	(協力)	株式会社 建設技術研究所	

(都市計画課)

Fax 042-328-1823

E-mail [toshikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp](mailto:toshikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp)

第1回 国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会 議事録

【日 時】 平成19年3月14日(水)午後6時30分～午後8時35分

【場 所】 国分寺Lホール

【出席者】 協議会委員名簿参照(出席者22名)

市長、副市長、市事務局4名、協力機関3名

傍聴者18名

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等	区 分	備 考
あ い ば しん 饗 庭 伸	首都大学東京 研究員	6号	
あ さ み せ い じ 浅 見 靖 二	国分寺市都市建設部長	7号	
あ り が たかし 有 賀 隆	早稲田大学理工学術院 教授	6号	
あ り よ し じゅうぞう 有 吉 重 蔵	国分寺市市民生活部長	7号	
い な が き み ち こ 稲 垣 道 子	(株)フェリックス 代表取締役	6号	
お く ち しん い ち 小 口 進 一	国分寺市清掃施設整備等担当部長	7号	欠席
か ん ざ き たかよし 神 崎 高 義	戸倉自治会	2号	
く り はら しん い ち 栗 原 進 一	内藤自治会	2号	
こ う やま ま さ ゆ き 神 山 正 行	内藤自治会	2号	
こ う やま ひ で お 神 山 秀 雄	国分寺市商工会	4号	欠席
さ か も と ゆ き お 坂 本 幸 雄	公募市民(並木町在住)	1号	
た か だ ち え み 高 田 千 恵 美	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	
た く ら へ い ぞう 田 倉 平 蔵	戸倉自治会	2号	
て ら う ち よ し の り 寺 内 義 典	国士舘大学工学部 助教授	6号	
な い と う た か お 内 藤 孝 雄	内藤自治会	2号	
な い と う と よ か ず 内 藤 豊 一	内藤自治会	2号	
な か む ら み つ と し 中 村 光 利	内藤自治会	2号	
な か む ら や す ゆ き 中 村 安 幸	東京むさし農業協同組合	5号	
ひ く ち み ち お 樋 口 満 雄	国分寺市政策部長	7号	
ひ く ち や す あ き 樋 口 靖 明	公募市民(東元町在住)	1号	
ふ し き た え こ 藤 木 妙 子	公募市民(戸倉在住)	1号	
ふ な み ず ひ ろ こ 船 水 弘 子	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	
ほ り く ち い さ く 堀 口 伊 作	共益東部自治会	2号	
や ま ね ま ち ろ 山 根 衛	戸倉自治会	2号	

1号委員：公募により選出された市民 2号委員：国3・2・8号線沿道地区関係自治会の推薦者

3号委員：国分寺市立小中学校PTA連合会の推薦者 4号委員：国分寺市商工会の推薦者

5号委員：東京むさし農業協同組合の推薦者 6号委員：識見を有する者 7号委員：国分寺市の職員

**【事務局】**

所	属	氏名	電話
(幹事)	政策部	政策経営課長	橋本正之 042-325-0111 内線371
	市民生活部	経済課長	渡辺正広 内線392
	都市建設部	道路管理課長	大久保茂男 内線503
		緑と水と公園課長	荒井務 内線352
		建設課長	阿部崇 内線505
	環境部	環境計画課長	渡邊一男 内線438
		下水道課長	浅見博 内線442
	教育部	学務課長	福島繁雄 内線457
(事務局)	都市建設部	都市計画担当課長	黒木秀一 内線513
	都市計画課	課長	松本昭 内線510
		都市計画担当係長	池田昇 内線512
		都市計画担当	羽田洋介 "
		"	斉藤幸芳 内線388
		"	龍雅子 内線512
	(協力)	株式会社 建設技術研究所	

(都市計画課)

Fax 042-328-1823

E-mail toshikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

**【議題】**

1. 開 会 (事務局)
2. 市長挨拶 (市長)
3. 委嘱・委員紹介
4. 座長・副座長選出
5. 議 題
  - (1) 協議会に関する基本事項について
  - (2) まちづくり計画の策定について
  - (3) その他
6. 閉 会

## 【主な意見】

### 1．協議会委員からの意見

（協議会の運営について）

具体的な4つのテーマについて一つ一つ意見を反映していくのはどうか。

テーマを絞って将来の町の可能性、まちづくりのテーマを出して頂きたい。

今後ブロック検討会を進めていく上で、東西の特性を考慮すべきでは。

将来どんな町になるのかイメージがしにくいので、分かりやすい方法で進めて欲しい。

ブロックごとのニーズを踏まえ、問題が起きないように考えていく必要がある。

（協議会での検討事項について）

沿道まちづくりでは環境、生活、地域の活性化などメリットのある土地利用をお願いしたい。

道路が鋭角に交差するので、現在の生活状況に不便を感じないようにしてほしい。

地域の分断を考えても、早い段階から将来を考えて行きたいと思う。

歩道を整備すると同時に車の流れをよくして貰いたい。

児童館に行くのも今でも大変なのに、大きな道路ができると不安に思う。

### 2．傍聴者からの意見

（協議会の運営について）

議論を深めるには、傍聴者に対しても、資料の事前配布をしてほしい。

メール・ファックス等を活用した意見収集をしてはどうか。

会議中は模型やパワーポイント等で説明するなど出席者がわかりやすい工夫を。

（協議会での検討事項について）

活力と魅力にあふれた国分寺市を創造するための土地利用を図ることが肝要と考える。

道路整備が問題（デメリット）であるとの単眼的な議論は避けてほしい。

生活道路のどれをつなげるか、どこに歩道橋を作るか、そこに生活している市民がよりよい環境を作るために参加することの重要性を感じました。

## “国 3・2・8 号線沿道まちづくり”に関するアンケート調査結果について

### 1. アンケート調査の概要

#### (1) 実施目的

本調査は、東京都が行う国分寺都市計画道路 3・2・8 号線（以下、「国 3・2・8 号線」という）の整備を契機とした沿道のまちづくりを行っていく上で、沿道にお住まいの方々がどのような課題認識や将来イメージを描いているのか把握することを目的に実施したものである。

#### (2) 調査対象範囲

沿道まちづくりの検討エリアである国 3・2・8 号線道路用地端から概ね 100m の範囲にお住まいの方々を対象として設定した。

（北町一丁目、東戸倉二丁目、戸倉一・二丁目、日吉町一・四丁目、内藤一・二丁目地内）

#### (3) 調査方法

1 月 15 日市報とともに、各戸に直接配布した。アンケートの回収については、返送用封筒に調査票を入れ、返送して頂くことにした。

#### (4) 調査項目

問 1：沿道まちづくりにどの程度関心がありますか。

問 2：沿道まちづくりの検討にあたって、あなたはどのように関わりたいと思いますか。

問 3：沿道地域では、どのようなまちづくりをすすめればよいと思いますか。

問 4：今後、道路を軸としたみどりの広がり形成していくために、こうした身近なみどりを将来的にどのようにすればよいと思いますか。

問 5：道路の整備にあわせて、沿道地域にはどのようなものが必要であると思いますか。

問 6：沿道まちづくりを考えていく場合に、どのような点に配慮して、検討していけばよいと思いますか。

問 7：沿道まちづくり全般について、ご意見・ご要望があればお書きください。

問 8：あなた自身についてお伺いします。

#### (5) 実施状況

実施時期：平成 19 年 1 月 15 日～1 月 31 日

配布数：約 4 7 0 0 枚（うち推進地区内：約 2 2 0 0 枚）

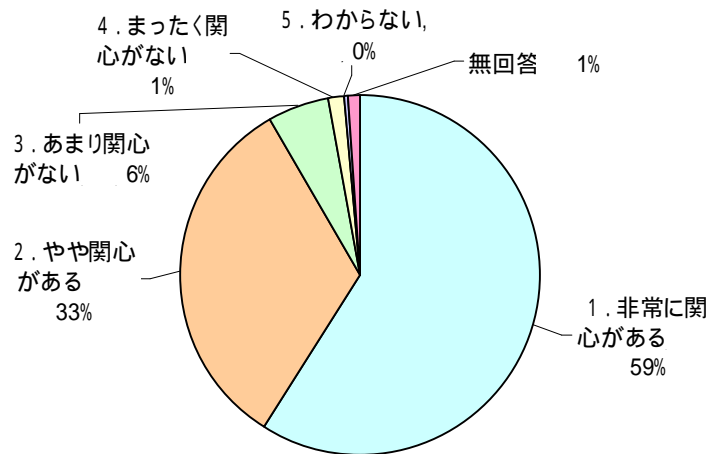
回収数：8 0 6 枚

回収率：約 1 7 %（推進地区のみ約 3 1 %）

## 2. アンケート調査結果のまとめ

### (1) 沿道まちづくりへの関心度 (問1)

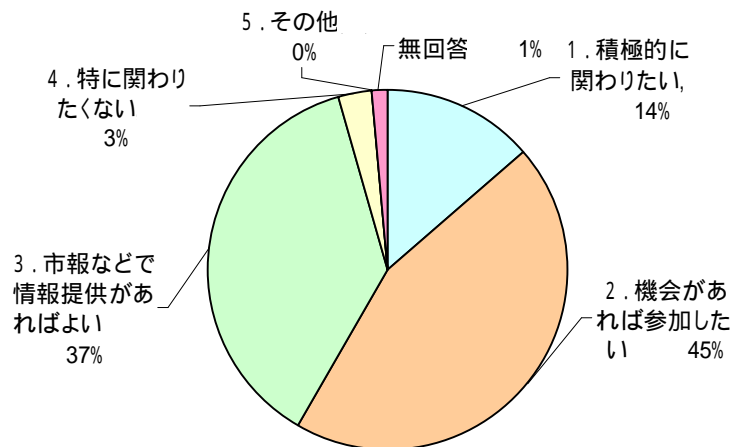
- 沿道まちづくりに対する関心度は、非常に高く、9割以上の方がなんらかの関心を持っていることが伺える。



沿道まちづくりへの関心度 (問1)

### (2) 沿道まちづくりへの参加意向 (問2)

- 概ね9割以上の方が情報提供やまちづくりへの関与を求めている。
- その他の意見としては、「参加したいが、高齢や体が悪いので参加できない」「インターネットでの情報提供を望む」等の意見が寄せられた。

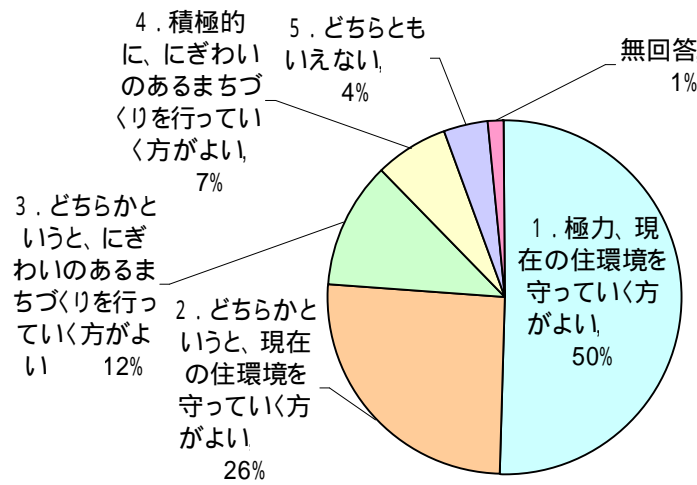


沿道まちづくりへの参加意向 (問2)



### 沿道まちづくりの方向性（問3）

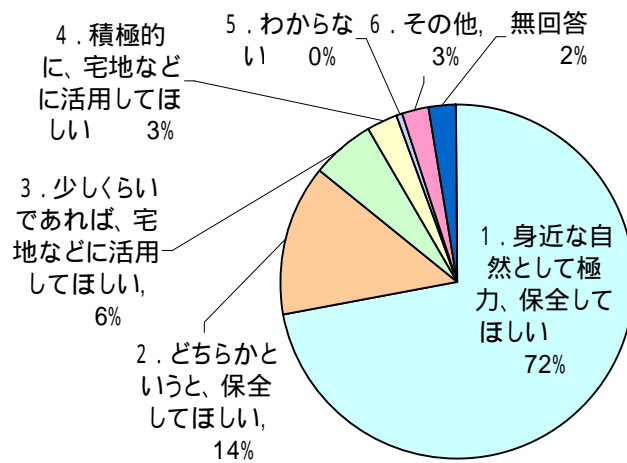
- 沿道まちづくりの方向性としては、現状の住環境を守りたいという意見が8割近く寄せられた。



沿道まちづくりの方向性（問3）

### （3）身近な緑のあり方（問4）

- 現在ある緑については、道路整備を行うにあたっては極力残してほしいという意見が7割以上を占めた。
- その他の意見としては、「開発する緑と残す緑をきちんと計画すべき」「宅地と一体となって緑を増やしてほしい」「商業施設や病院に活用してほしい」などの意見が寄せられた。



身近な緑のあり方（問4）

(4) 道路整備に合わせて必要なもの(現状の満足度と必要性)(問5)

- 現状の満足度と整備の必要性については、概ね反比例関係にあり、「緑道・遊歩道」「自転車道」が相対的に高い値を示している。これは、現状の生活道路が狭く、安心して歩くことができない現状を示しているといえる。

道路整備に合わせて必要なもの(自由意見)

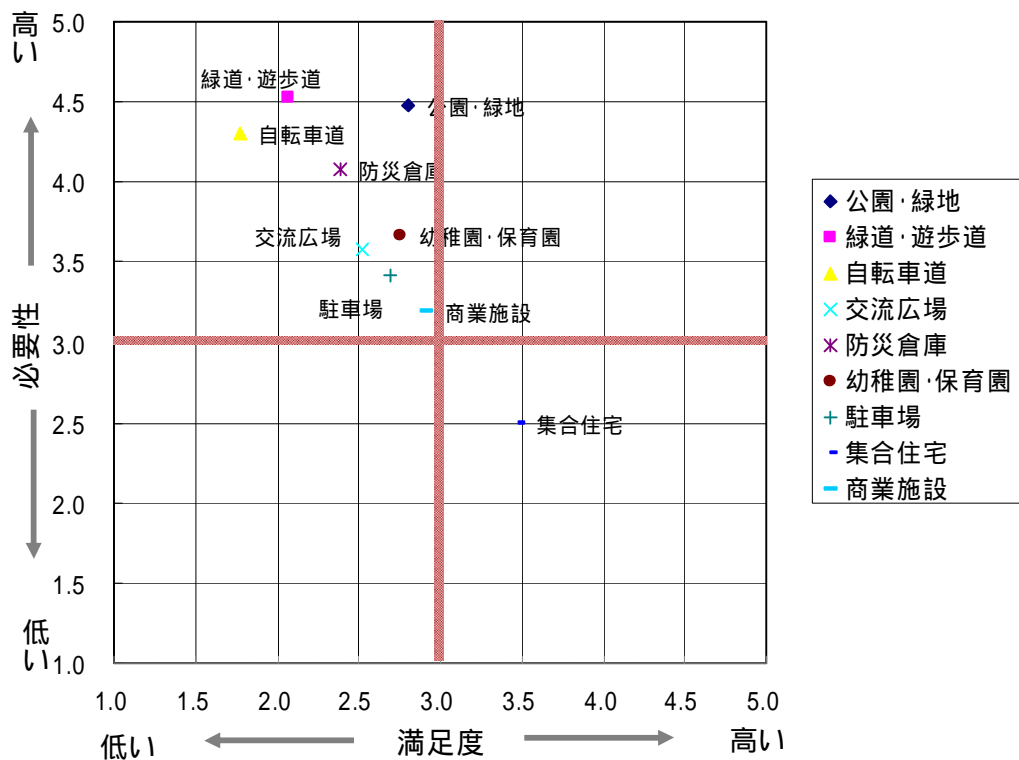
国3・2・8号線に対しては、横断歩道、歩道橋、ガードレール、段差のない歩道、街路樹など

公園には、トイレ/犬の遊び場/遊具/水道施設など

周辺道路に対して、歩道/ガードレール/街灯/一方通行化/バスルートなど

その他必要なものとしては、運動場/体育館/駐輪場/コミュニティーセンター/医療・福祉施設/図書館/飲食店/スーパー/コンビニ/交番/農地など。

整備してほしいものとして、商業施設/集合住宅/道路など



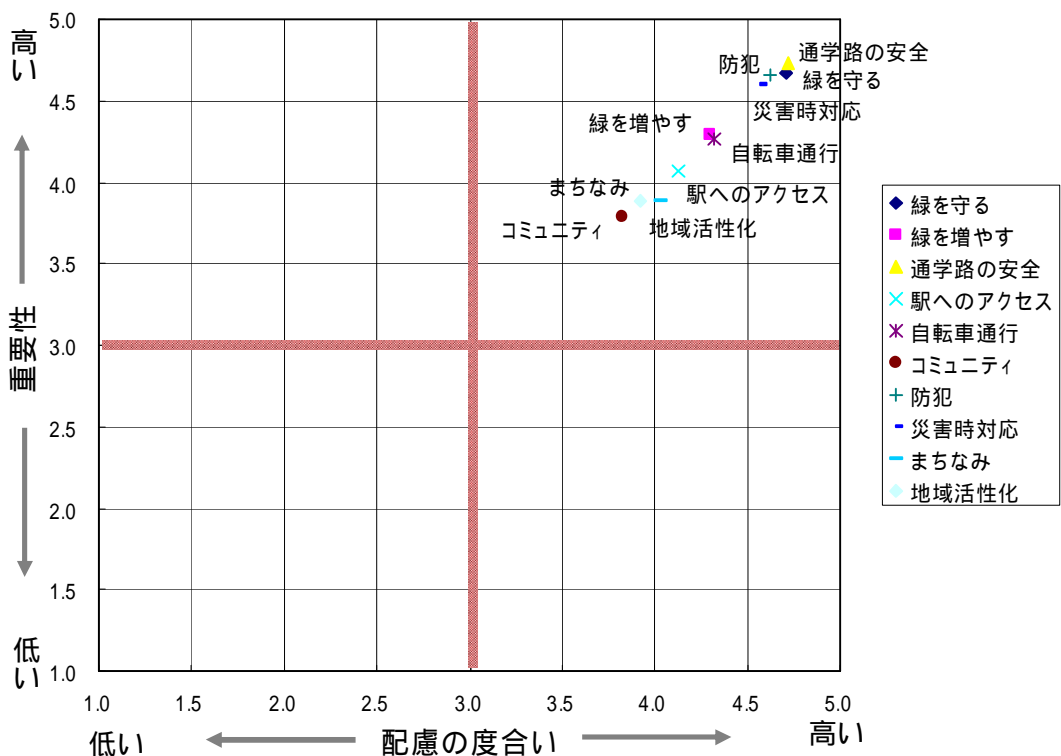
道路整備に合わせて必要なもの(満足度と必要性の関係)(問5)

( 5 ) 沿道まちづくりで配慮すべき項目 ( 配慮の度合いと重要性 ) ( 問 6 )

- 沿道まちづくりで配慮すべき項目の程度と重要性は、正比例の関係を示し、重要性が高い項目ほど、配慮すべきであるという傾向が得られた。
- 基本的には、すべての項目を配慮して沿道まちづくりを行う必要があるが、その中でも「通学路の安全」「防犯」「災害時対応」というまちの安全性を高める項目と「緑を守る」という身近な自然 ( 住環境 ) を守ることが特に高い値を示した。
- その他、自由意見としては、緑地の保全・整備、防犯、子供たちの安全に関する意見が多く寄せられた。( 具体的な意見は下記参照 )

沿道まちづくりで配慮すべき項目 ( 自由意見 )

( 土地利用 ) 静かで住みやすいまちづくり / 現在の住環境の保全 / 用途地域の見直し / 建物の高さ制限 / まちの活性化  
 ( 景観 ) ごみ対策 / 建物の色彩統一 / 街路樹・草花の植栽  
 ( 緑地 ) 緑地の整備 / 農地・雑木林の保全 / 水の流れ / 歴史的建造物の保存  
 ( 生活道路 ) 抜け道にならないように / 一方通行化  
 ( 防犯 ) 交番の設置 / 街灯の充実 / 空き巣・子供への犯罪対応  
 ( 安全 ) 学区の分断 / 自転車との分離 / 信号・横断歩道・歩道橋設置 / 安全な遊び場  
 ( 利便性 ) 駅へのアクセス / バリアフリー / 生活道路の分断  
 ( 環境施設帯 ) 広い歩道 / 街路樹を多く / バリアフリー / 見通しのよさ



沿道まちづくりで配慮する項目 ( 配慮の度合いと重要性の関係 ) ( 問 6 )

## ( 6 ) 沿道まちづくり全般について ( 問 7 )

沿道まちづくりに関する自由意見としては、大きく分けて、以下のとおりに分類される。

沿道まちづくりに対する住民の関わり

沿道まちづくりについて

主な意見 ( ほぼ原文のまま )

### 1 ) 沿道まちづくりに対する住民の関わり

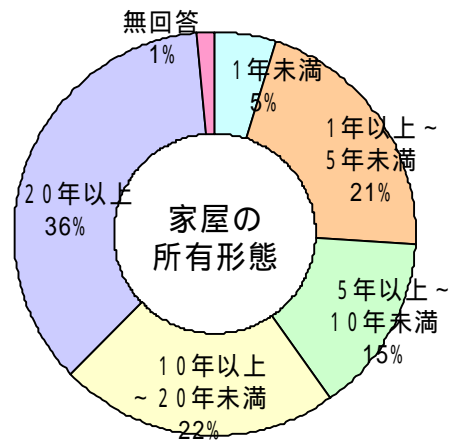
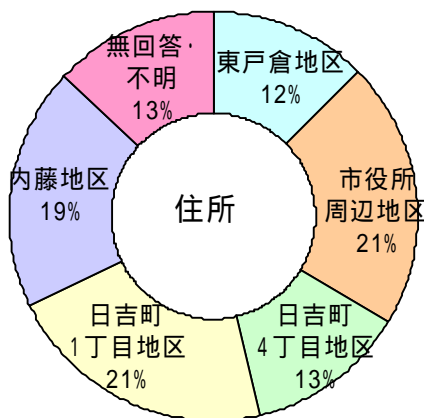
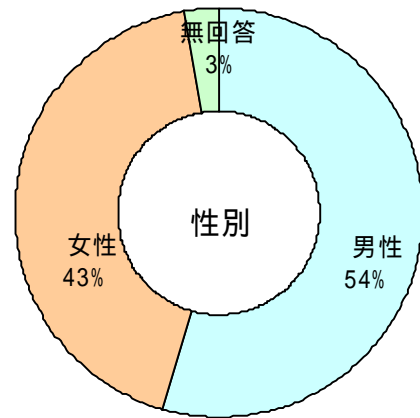
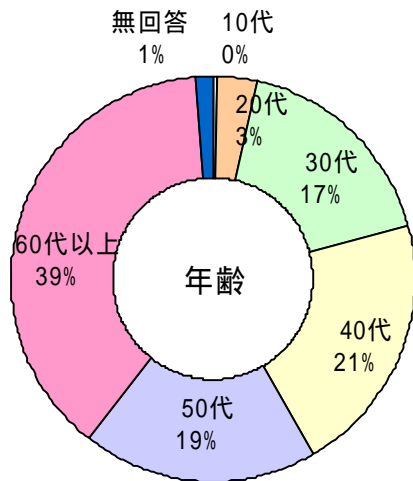
- 何から何まで市民の声を反映させる必要はないと思う。
- 街の住民とよく検討して町づくりを検討してほしい。
- 全ての人が満足するのは難しいと思いますが、近隣住民と、利用のみする人がお互いの立場 ( 意見 ) をよく理解しあうことが大切だと思います。

### 2 ) 沿道まちづくりについて

- 国分寺はウォーキングに最適な町ですが、道路が狭くて怖いことがあります。ゆったりと落ち着いて散歩が楽しめる町にして頂きたいと思います。
- 農地や雑木林など、「緑」はぜひとも残して欲しい。国分寺らしさ、国分寺のよさは緑の多いところだ。
- お願いしたい事は老人と子供の為に自転車の通る道と人の歩く道との安全を考えて頂きたいという事です。今現在の道路では危険すぎます。狭すぎます。
- ユニクロやファミレスなど、ファミリー向けの商業施設が来てもらえるとうれしいです。

(7) あなた自身について

- 回答者の属性としては、60歳以上の方からの回答が多く、居住年数も10年以上が6割を占めた。このことから、地域のことをよく知っている市民像が伺える。
- 地域別に見ると、今後予定している5ブロックから満遍なく意見が収集できたといえる。



## ブロック検討会開催報告

### 1. 第1回ブロック検討会

#### 目的

検討会の目的・検討内容・進め方等について参加者全員で共通認識をもつとともに、沿道まちづくりや参加者同士について理解するものとします。

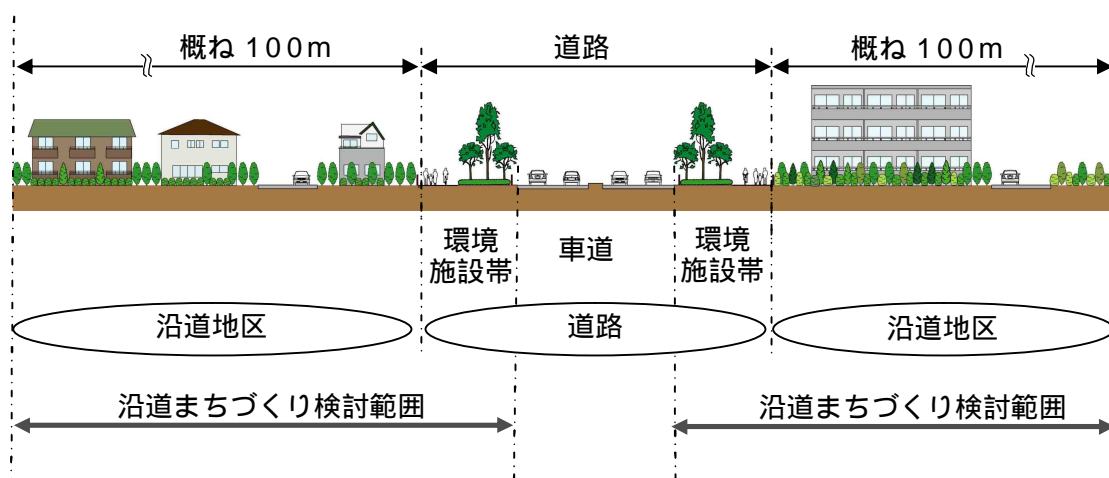
#### 説明概要

- ・ブロック検討会で話し合う事項及び検討範囲、検討会の進め方について、下図表を用いて説明を行いました。

#### ブロック検討会で話し合うこと

テーマ	想定される検討課題
公共施設の 再整備	既存道路の再整備・切り回し 新しい地区内道路等の整備
土地利用	幹線道路にふさわしい土地利用のあり方 都市計画(用途地域・建ぺい率・容積率・高さ制限・壁面後退、 地区計画等)
都市環境 (緑・景観)	環境資源の保全・再生 緑のまちづくりの方針 景観まちづくりの方針
環境施設帯	環境施設帯の整備類型 沿道土地利用計画と環境施設帯の望ましい関係 環境施設帯の整備方針(大枠の方針)

#### ブロック検討会の検討範囲



## 実施概要

日 時：平成19年5月19日（土）午後1時00分～午後3時10分  
場 所：国分寺市役所本庁舎第一・二委員会室  
出席者：委員25人、傍聴18人

## 検討内容

事務局からの説明のあと、参加者が2ブロックに分かれて意見交換を行いました。  
意見交換の後にグループ発表を行いました。



## 主な意見

### （公共施設の再整備について）

生活道路の変化、東西の分断が心配。  
横断歩道を設置してほしい。

### （土地利用について）

地域の発展にはある程度の沿道利用も必要。  
大型店ができないようにしたい。

### （環境施設帯について）

環境施設帯に植える木を検討すべき（コスト、管理面等）。

### （都市環境について）

緑については沿道だけでなく、市全域を見据えた広い範囲で考えるべき。

### （協議会運営について）

完成事例の提示や、見学会の実施を希望する。  
国3・2・8号線ができた時のイメージの共有化が必要。

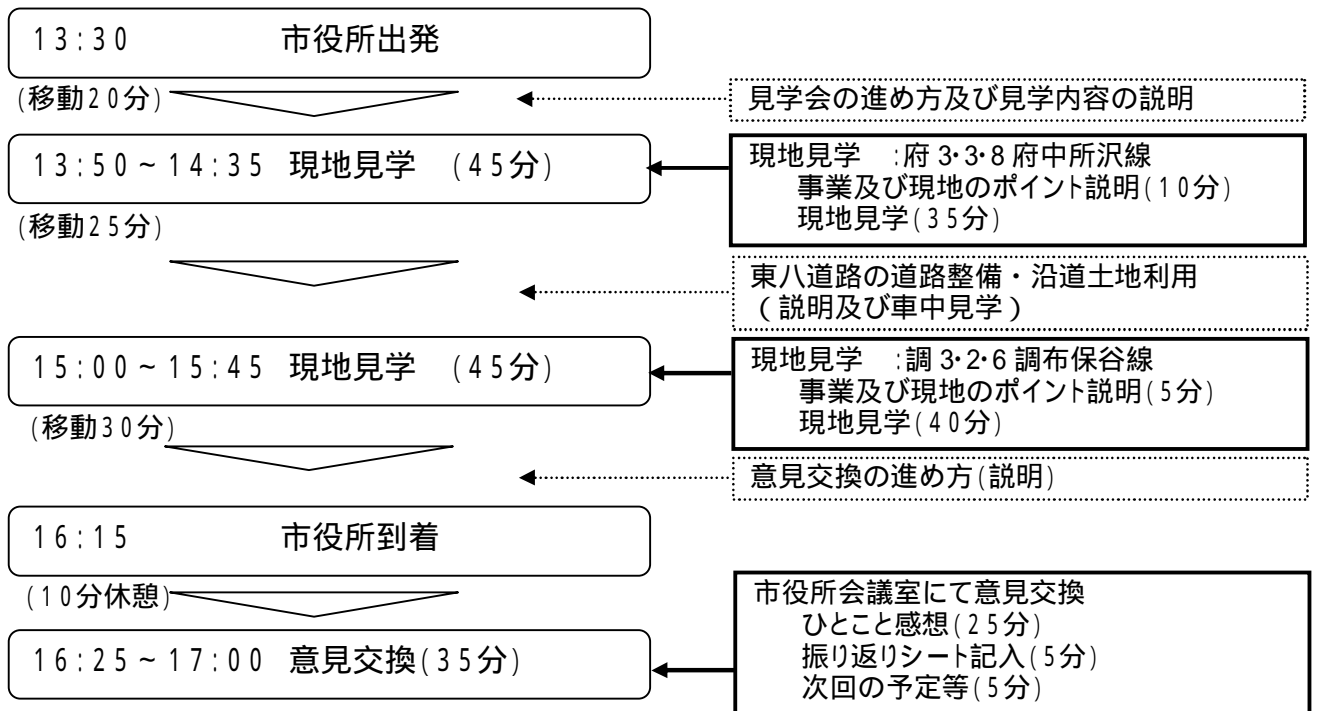
## 2. 第2回ブロック検討会

### 目的

ブロック検討会のメンバーが、今後どのような沿道にしたいのかを考えるヒントとして事例見学会を開催することで、沿道まちづくりのイメージを膨らませることを目的とします。また、屋外の活動を通じて、メンバー同士の交流を深めるものとします。

### 実施工程及びルート

以下の工程及びルートに基づき、現地見学会を開催しました。





## 実施概要

日 時：平成19年6月16日(土) 13:00～17:00  
場 所：府338号線・調326号線現地  
出席者：委員24人、一般参加3人

## 開催内容

現地見学会では、国3・2・8号線と同じような道路整備が行われた2つの事例（府3・3・8号線・調3・2・6号線）を見学した後に、見学した感想などについて意見交換を行いました。



## 主な意見

### （公共施設の再整備について）

横断歩道はどこに設置されるのか。

国分寺の道路は、府中・調布と違って斜めに交差する。

### （土地利用について）

沿道に生産緑地が多いので「みちの駅」をつくってはどうか。

### （環境施設帯について）

歩道と自転車道と区分されているところ、いないところが混在しており、統一したほうが良い。

今回の事例（府3・3・8号線・調3・2・6号線）で見た程度の植栽の量が良い。

### （都市環境について）

調3・2・6号線では保存樹としてシラカシが歩道内に残されており感心した。

国分寺においても同様の取り組みをしてほしい。

### （協議会運営について）

次世代を担う若者の意見を聞くために、学生にアンケートを行ったらどうか。

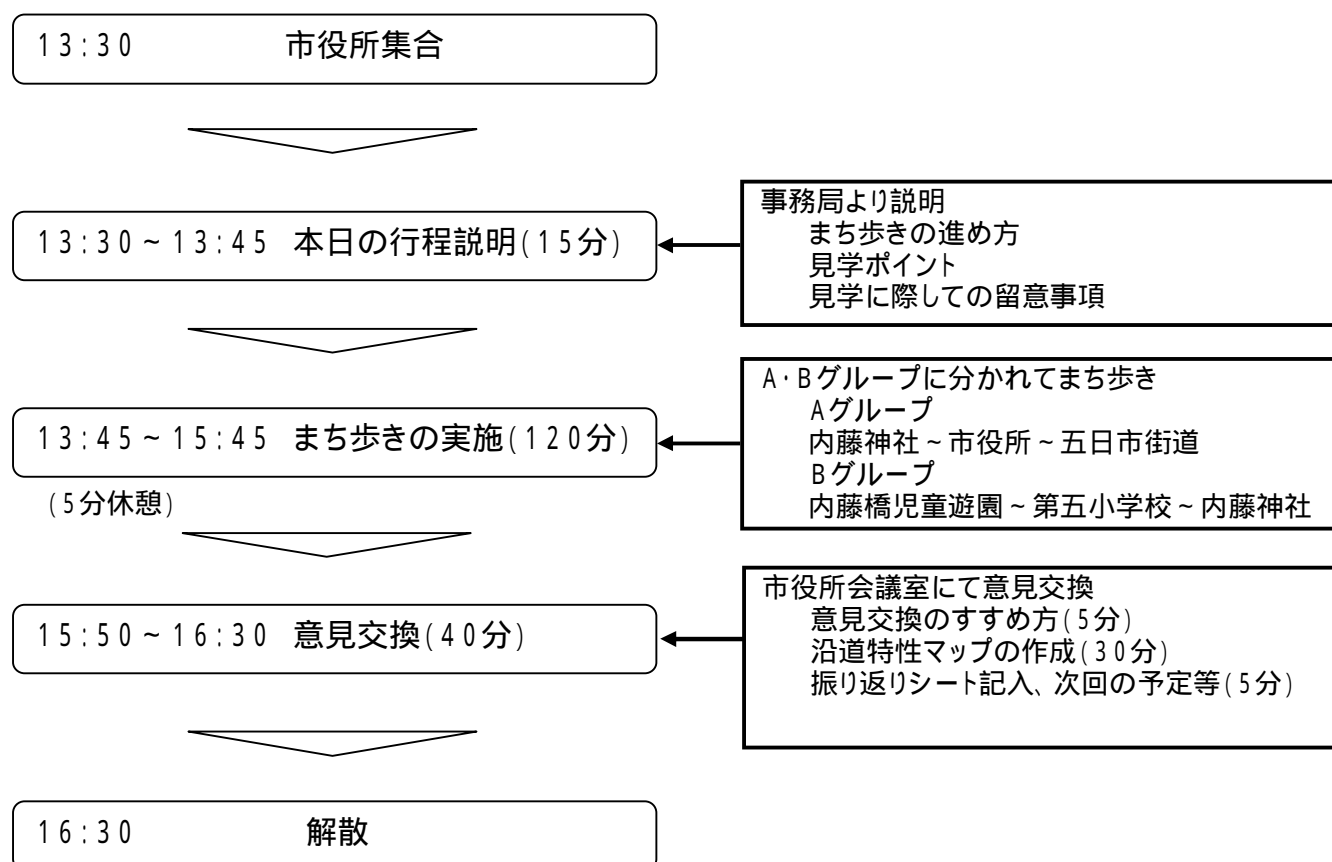
### 3. 第3回ブロック検討会

#### 目的

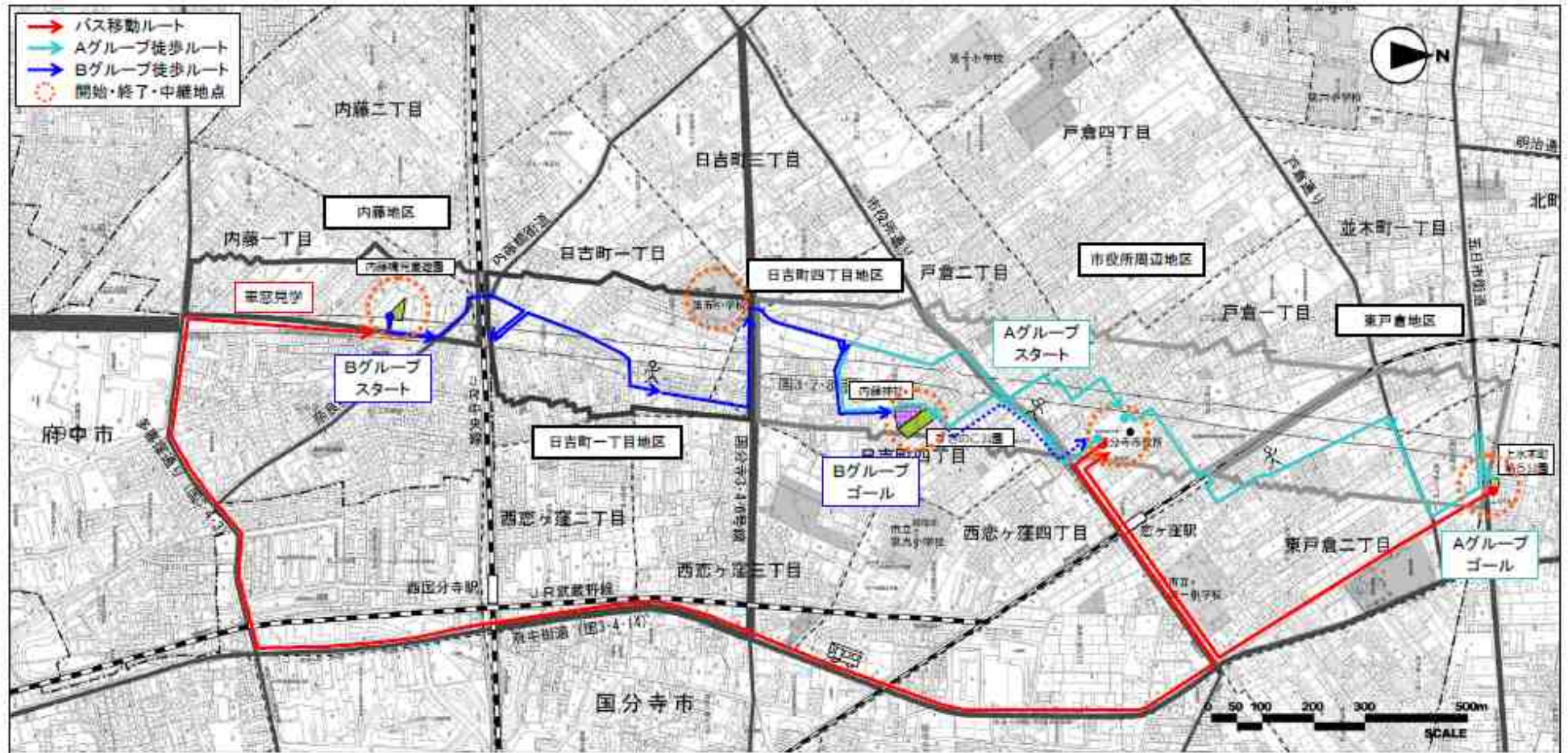
国3・2・8号線が整備される現地のまち歩きを行うことで、まちのよい点や悪い点、道路整備に合わせた沿道のまちづくりを行う上で配慮すべき点などを発見・確認することを目的とします。

#### 実施工程及びルート

以下の工程及びルートに基づき、現地見学会を開催しました。



# まち歩き全体スケジュール・ルート案内



## 実施概要

日 時：平成19年6月30日(土) 13:30~17:00

場 所：国分寺市役所周辺

出席者：委員19人、一般参加3人

## 開催内容

現地見学会では、国3・2・8号線が整備される箇所を実際に歩くことで、道路整備に併せたまちづくりの実現に向け、課題点や疑問点等を発見し、意見交換を行いました。



## 主な意見

### (公共施設の再整備について)

国3・4・6号線の交差点など、交通量が増えそうな箇所がイメージできた。  
横断歩道橋の設置を考える場合、バリアフリーの観点から、エレベーター等の設置を検討してほしい。  
住民の現在の生活動線を確保してほしい。

### (土地利用について)

緑豊かなまちであるので、大型店の林立は避けたい。

### (環境施設帯について)

歩道のあり方(歩行者と自転車)等を今後議論したい。  
生活道路からのアクセスは、安全面からみて副道方式が良い。  
副道方式では緑が少なくなるのではないかな。

### (都市環境について)

内藤神社付近は、緑が多いので環境を保全したい。  
既存樹木(シラカシ等)を残したい。

# ブロック検討会における意見を踏まえた検討事項

資料2 - 2

検討テーマ		代表的な検討課題の内容
1. 公共施設の再整備	生活動線の変化について	生活道路がなくなってしまうこと（国3・2・8号線と市役所通りの間等） 東西道路の分断（内藤神社南側等） 住民の現在の生活動線の確保 生活道路がどのように接続するのか
	通学路等、学童の安全について	交通量が増えた時の歩行者の安全 車道や歩道の両面を含めた安全対策（五小などの学童の安全）について
	横断施設について	歩道橋や横断歩道の設置箇所（戸倉通りと西武線の間など） 横断施設への要望（歩道橋の場合はエレベーターが必要・平面交差点がよいなど）
2. 土地利用	将来の土地利用について	用途地域の見直しや将来の土地活用  ex) 地域の発展にはある程度の沿道利用も必要  ex) 道路沿いの建物についてある程度の規制をかけられないか。（大型店・パチンコ店等を制限する等）
3. 都市環境（緑・景観）	広域的な緑や動植物の保全の考え方	緑については沿道だけではなく、市全域を見据えた広い範囲で考えるべき 既存樹木（シラカシ等）の保全  緑豊かな風景の保全（すぎのこ公園、内藤神社周辺など）
4. 環境施設帯	自転車歩行車道の整備形態について	歩道と自転車道の区分方法（段差をつける・植え込みで完全分離する等）
	植栽について	樹木の選定について（管理面も含めた検討が必要）  ex) 植栽は高中低木の混栽が理想的  ex) 事例見学会（府3・3・8号線・調3・2・6号線）で見た程度の植栽が良い。沿線が明るく問題も無く良いのではないかと思 ex) 東八道路のような常緑の植栽の方が、大気汚染等の防止には有効だと思う  環境施設帯に既存樹木を保存樹として残すこと
	副道について	副道のメリット・デメリット  メリット) 路上駐車防止に効果がある。生活道路から国3・2・8号線への接続は安全面からも副道方式がよい。 デメリット) 副道にすると、全て一方通行になる。横断する場所もなくなる。

## 国 3・2・8 号線沿道まちづくりに関する 次世代アンケート調査 実施要領（案）

### 1. 趣 旨

国 3・2・8 号線沿道まちづくり計画については、現在、市民・学識経験者・地元関係者・行政等による「全体協議会」と、沿道住民を中心とした作業グループである「ブロック検討会」を立ち上げ、様々な立場の参加者が集まり、計画（案）の策定に向け議論を進めているところである。

計画づくりには、多様な立場からの視点とともに、長期的な展望が必要であることから、次世代を担う若者の意見を把握することを目的とし、市内公立高校生および国 3・2・8 号線周辺の中学校生徒を対象としたアンケート調査を行うものである。

調査結果については、計画づくりの基礎資料として使用するとともに、「全体協議会」および「ブロック検討会」において報告することとする。

### 2. 調査要領（案）

調査対象	市内第一、第四および第五中学校 全校生徒	都立国分寺高校 全校生徒
配布数	約 1,200 人	約 1,000 人
調査方法	クラス単位での調査票の直接配布・回収 (学校側の協力が得られた場合)	
調査期間	学校側の負担とならないよう、学内行事に合わせたタイミングで実施	

### 3. 質問項目（案）

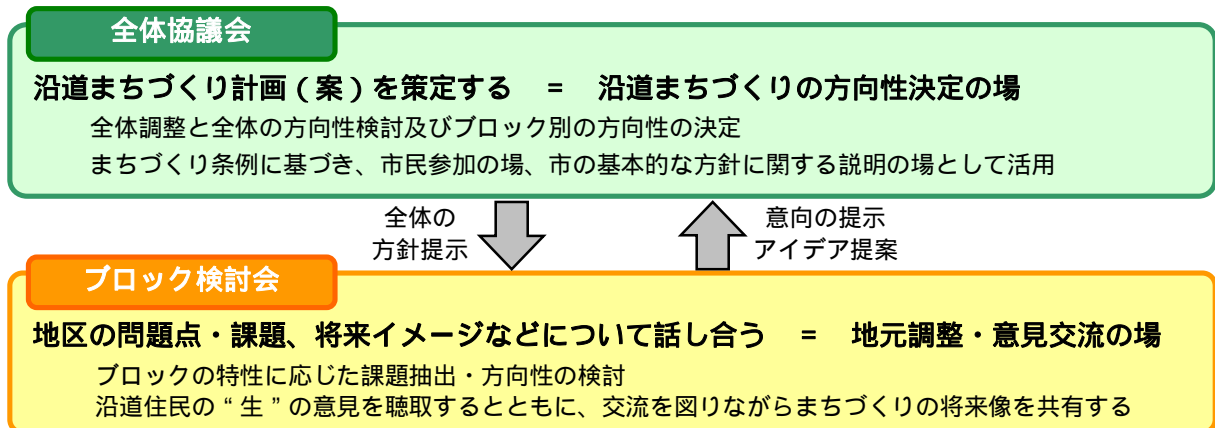
- 国分寺の「緑」のイメージについて
- 自転車・徒歩で国分寺の「道路」を利用する時に感じること
- 将来住みたいまちのイメージ
- 好きな道路・嫌いな道路のイメージ 等

## 今後のブロック検討会の進め方について（案）

### 1. これまでの経緯

#### (1) ブロック検討会の目的と役割

沿道まちづくりは、以下に示す役割を持つ「全体協議会」と「ブロック検討会」の2つの組織を中心に検討を行っていくこととした。



#### (2) ブロック検討会メンバー募集要項（平成 19 年 1 月）

ブロック検討会メンバーについては、市報において下表（左）に示す要項による募集を行った。

しかしながら、実際の応募者は 17 名であり、当初目標としていた 50 人は集まらなかったため、応募者に協議会委員でもある自治会推薦者 10 名を加えた 27 名で、検討会をスタートすることとした。

ブロック	公募	自治会 推薦
内藤地区	3	1
日吉町一丁目地区	2	3
日吉町四丁目地区	3	2
市役所周辺地区	2	2
東戸倉地区	7	2
計	17	10

< ブロック別検討会メンバー数 >

### 2. 今後の進め方

今後ブロック検討会では、ブロック毎に課題を抽出し、まちづくりの方向性の検討を進めていく予定であり、これらの議論には多角的・長期的な視点が必要である。

したがって、具体的な議論となる第 5 回以降のブロック検討会については、推進地区内住民においては自由参加のワークショップ形式とし、開催の都度メンバーを募ることにより、より多くの参加を促すこととする。また、現ブロック検討会メンバーについては、話し合いの場において中心的な役割を担っていただくこととする。

旧		新	
募集人数	5 ブロック各 10 人程度	募集人数	5 ブロック各 10 人を目標 (応募多数の場合、抽選)
応募資格	まちづくり推進地区内に住む 20 歳以上の市民	応募資格	まちづくり推進地区内に住む 20 歳以上の市民
応募方法	応募動機(200 字程度)を提出	応募方法	参加意思の表明 (まちづくりニュース等で随時募集)
任期	まちづくり計画の策定終了まで (おおむね平成 19 年度末) 会議全 7 回(予定)に出席	任期	開催の都度、参加者を募集

(市報 平成 19 年 1 月 15 日号にて募集)

< 募集要項見直し案 >

